

平成16年1月14日

関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察注意報第3号を送付します。

平成15年度病害虫発生予察注意報第3号

平成16年1月14日

高知県病害虫防除所

黄化えそ病(MYSV)

1. 対象作物 施設キュウリ、施設メロン
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 10月以降
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) 平成15年12月第4半旬に行った巡回調査の結果、抑制キュウリ、促成キュウリとも平年の約2倍の発生面積となっており発病株率も平年より高い(別表)。
 - 2) 各普及センター、JAからの聞き取り調査では、メロンにおいても香美地区を中心に平年より発生が多い。
 - 3) 抑制キュウリ、促成キュウリにおけるミナミキイロアザミウマの発生は平年並～やや少なめであるが、感染源となるウイルス感染株が多いことから今後もやや多発生で推移すると思われる。
 - 4) 同様に、今後、後作メロン、後作キュウリにおいても生育初期からの感染が懸念される。
6. 防除対策
 - 1) 発病株の早期発見、除去に努め、伝染源をなくす。
 - 2) 媒介虫であるアザミウマ類の徹底防除が重要であるが、今後、本病発生ハウスに後作のメロン、キュウリを作付けする場合は特に注意が必要である。
 - 3) アザミウマ類の防除に当たっては薬剤防除のみではなく、ハウス開口部への防虫ネットの被覆、紫外線カットフィルムの使用、シルバーポリマルチの利用、栽培終了時のハウスの蒸し込み処理、ほ場及び周辺の除草など耕種的、物理的な防除法を取り入れる。
 - 4) 苗による本ウイルスの持ち込みに注意する。

別表 施設キュウリでの黄化えそ病及びミナミキイロアザミウマの発生状況(平成15年12月)

		黄化えそ病		ミナミキイロアザミウマ	
		発生面積(ha)	発病株率(%)	発生面積(ha)	寄生株率(%)
抑制キュウリ (127ha)	本年	84.7	1.6	28.2	3.6
	平年	44.2	1.0	42.9	2.0
促成キュウリ (61ha)	本年	33.8	3.3	12.8	1.1
	平年	16.3	1.4	15.2	3.1